

くらしの危険 // 個人年金保険の契約はリスクを確かめて //

事例 銀行に預けていた定期預金が満期になったと知らせを受けた。銀行に行くと担当者から「よい商品がある」とドル建ての個人年金保険を勧められ、契約した。その場の説明では納得したが、元本割れはないのか、円高で大丈夫か、と今後が不安になった。(50代 女性)

事例の個人年金保険とは、保険料を支払って、あらかじめ定められた年齢から年金の支払いが開始されるものです。この商品は仕組みが難しく、外貨建ての場合は為替の変動によるリスクや手数料がかさむといったデメリットもあります。

また、個人年金保険について銀行は保険会社の募集代理店であり、契約場所は銀行でも契約先は保険会社になります。保険会社の運用状況によっては、将来の受取金額が支払った保険料を下回ることもあります。

消費者へのアドバイス

①契約はよく理解してから

金融・保険商品の購入で大切なのは商品を正しく理解することです。不明な点があるうちは手を出さないという態度が大事です。商品の内容を理解できない場合は、その場ですぐに契約せず、また、個人年金保険の必要性を感じない場合は、きっぱりと断りましょう。

②契約先の保険会社を確認する

個人年金保険の契約は保険会社と締結することになります。どの保険会社と契約するのか、信用性はどうかなどをよく確認しましょう。

③外貨建てのものは為替差損と手数料に注意

個人年金保険が外貨建ての場合には、日本円で受け取る時に、外貨を円に換算するといくらになるかという為替相場の影響を受けます。状況によっては、受取金額が支払った保険料を下回ることもあります。また、外貨を円に換えるのに手数料が差し引かれることも考慮しなければなりません。

④中途解約の想定を忘れずに

一定期間の預け入れや払い込みを行うことを想定している商品では、中途解約すると解約料が差し引かれ、解約返戻金が支払った保険料を下回ることもあります。解約せざるを得ない突然の事態が将来生じることも想定しておきましょう。

個人年金保険など金融・保険商品に関するトラブルのご相談やお問い合わせは、お近くの消費生活相談窓口をご利用ください。

企画財政課のお知らせ

サイド・バイ・サイド

女性活躍推進課



問合せ／人権推進担当
☎ 991-1815

ポジティブ・アクション って何？

日本の労働人口の4割は女性が占め、社会の多くの分野の活動を担っています。しかし、古い固定観念などにより、日本では他の先進国と比較して、指導的立場で活躍する女性が少ないのが現状です。このため、社会のさまざまな活動に参画する機会の格差を改善するため、必要な範囲において女性に積極的に機会を提供する取り組みを「ポジティブ・アクション」(積極的改善処置)と呼び、企業、団体や地域社会などで推進が求められています。

国(内閣府)は、男女共同参画社会実現のため、昨年12月、今後5年間に取組む課題を示した「第3次男女共同参画基本計画」を策定しました。

この計画は、女性にとっても男性にとっても生きやすい社会をつくることであり、特に「女性の活躍による社会経済の活性化」を強く強調しています。

わが家のエンジェル

My Sweet Faces!



じょう あおと
城 碧翔くん
[H21.5.20]

コメント

いつもここにこ
元気いっぱい育ててね!
【和彦・玲奈】
(大字松伏)



いずも りん
出雲 凜ちゃん
[H18.10.6]
れん
蓮くん
[H21.11.2]

コメント

やんちゃな2人♪大好きよ♥
【誠・美紀】
(ゆめみ野東2丁目)